

先週の説教要旨

『黄金・乳香・没薬』井上隆晶牧師
ミカ 5:1~3、マタイ 2:8~20

❶【クリスマスは旅物語でいっぱい】イエス様が生まれた時、天に特別な星が現れました。その不思議な星を見つけた占星術の学者たちは、救い主が生まれたことを知って遠く東方のペルシャ、アラビアから旅をしてやってきました。ペルシャは昔、イスラエルが捕囚となっていた国です。すべての捕囚の民がエルサレムに戻ったのではなく、多くのユダヤ人がペルシャに残りましたから、ユダヤ教の信仰が広まったのだと思います。学者と訳されていますが原語は「マギ」です。彼らは哲学、薬学、自然科学、天文学の知識がある科学者です。三つの献げ物をしたことから三人ということになっていますが、分かりません。やがて三人にカスパー、メルキオール、バルタザールという名前がつけられました。さてクリスマスは旅をする物語でいっぱいです。ヨセフとマリアは住民登録をするため旅をし、占星術の学者たちも星に導かれて長い旅をし、羊飼いたちは野原を旅します。私たちの人生も旅をしているようなものです。自分の意志とは違う意志が、私をこの旅へと送り出したのです。私たちは目的地を知らないで人生の旅を始めたのです。私も若い時は分かりませんでしたが、キリストに出会ってから、また昔の教父たちの本を学んでから、はっきりと分かるようになりました。4世紀の聖大アタナシウスはこういいました。「なぜ神は人になったのか。人を神にするためである。」人間に神の性質を与えて不滅なるものにするために、キリストは人になったのだと言っているのです。人は神に出会うために産まれて来たのです。そして神の愛と聖霊の恵みによってキ

リストに似た者になることが人生の目標なのです。人生の目的地は地上ではなく、天にあります。

❷【メシアが生まれても不安を感じ、嬉しくない人間】占星術の学者たちはエルサレムに来て「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

(2:2)と言いました。彼らは、エルサレムの人々はみな新しい王の誕生を知っていると思ったのでしょうか。しかしヘロデ王もエルサレムの人々もこれを聞いて不安を抱きました。ヘロデは祭司長たちや学者たちを集めて、メシアはどこに生まれることになっているかと問い、ユダヤのベツレヘムであることを知ります。そこでヘロデは、占星術の学者たちをベツレヘムへ送り出しました。しかし新しい王を拝みに行ったのは、占星術の学者たちだけで、後の人たちは誰も行きませんでした。それは町の人々も、祭司や聖書の学者たちもメシアの誕生を歓迎していなかった、あまり嬉しくなかった、もっと言うと迷惑だったということなのです。ヘロデ、エルサレムの町の人々、祭司、律法学者はみんな偽りの生活を送っており、それで結構やっていけたからです。人々は自分に利益を与えてくれる偽りの王に仕える生活が身についてしまいました。本当の主人が現れたら、この生活は崩れてしまいます。祭司たちも本物が現れたら、自分の偽りがはがされてしまいます。出来上がってしまった偽りの生活を変えることは嫌なのです。

❸【黄金、乳香、没薬を献げよう】占星術の学者たちは王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が現れ、彼らに先立って進み、幼子イエス様のいる場所

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

E メールアドレス: 3533osgm@jcom.zaq.ne.jp

ホームページアドレス: <https://miyakojima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上 隆 晶

2026年1月4日 No.1853



《エジプトへの逃避》

都島教会の 2025 年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなしい。」(詩編 127:1)

2025 年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 28 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。